

千葉大学大学院人文公共学府 学位授与の方針（博士後期課程）

博士後期課程では、博士前期課程までで築いた知的基盤の上に、以下の知識・能力を修得する。

「自由・自立の精神」

- 人文科学及び公共学・社会科学の分野において、行政や国際機関を含む社会の多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す人材として、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行うことができる。
- 人文科学及び公共学・社会科学の分野における研究倫理を身につけている。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- 人文科学及び公共学・社会科学の分野において広範な視野と多様な視点を持ち、国内外の専門機関や研究者と協働し、自ら課題を設定し自立的な研究開発を行うことができ、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、公共性を身につけた研究教育者あるいは国内外の機関を指導する人材として活動するための基礎として、多様な文化・歴史に対する理解がある。
- 自己の国際経験を生かし、先導的に学問の発展に寄与することができる。

「専門的な知識・技術・技能」

- 人文科学及び公共学・社会科学の分野において、創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献でき、イノベーション創出の実践を目指すことができる。また、幅広く専門的および公共的知識に基づく研究遂行能力を生かして、高度な研究開発プロジェクトの企画・管理を行うことができる。

「高い問題解決能力」

- 人文科学及び公共学・社会科学の分野において、多様な専門領域の情報・知識を他者と共有し、公共的知見を具備した指導者として協調・協働し、知識集約型社会を支える新たな知見や価値を創出できる。